

【別紙様式】

平成27年度 津山市立大崎小学校

改善プラン「平成27年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12月末）

津山市 達成目標	<p>これまでの取組やたしかめテスト等から</p> <p>【平成28年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み</p>	<p>県平均と比べ、国語Aの「話すこと・聞くこと」読むことの領域で15P、国語Bはどの領域も20Pの開きがある。</p> <p>算数Aでは、県平均と比べると「図形」の領域の正答率が低く、「数量関係」はかなり近いが下回っている。算数Bは評価の観点から、「知識・理解」の正答率が60P以上あるが「数学的な考え方」については20Pにとどまっている。</p>	
	<p>学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）</p>	<p>進捗状況</p>	<p>3学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）</p>
	<p>最低学力保障として「大崎自律プログラム」に全校で取り組む。各学年で早めの漢字習得学習を行い、大崎漢字を行う。かけ算九九、47都道府県覚え、歴史人物覚え、なわとび二重とび、鉄棒逆上がりなど、学年に応じて学力、体力向上を図る。</p>	<p>B</p>	<p>大崎漢字を全員合格（90点以上）にする。 学年ごとに取り組み、80%の達成を目指す。</p>
	<p>「授業と生徒指導の一体化」を図るために、児童自身に目標をもたせ、自分の成長を意識させたり、自己決定力を身につけさせたりするために『変心カード』を定期的に記入させる。</p>	<p>B</p>	<p>ひと月に2度の『変心カード』に記入する。児童の目標管理とがんばりや成長を評価する。</p>
	<p>津山市教委より授業改善の視点（提案～）を授業に取り入れ、導入の工夫や展開の中での児童同士の話し合い活動の充実、終末で学んだことや自分の考えをノートに書くことなどの活動を行う。</p>	<p>B</p>	<p>学力テスト（NRT）の全校正答偏差値の目標値48以上を目指す。 国語・算数が好きだと好意的に答える児童を1割以上増やす。</p>
	<p>多めの宿題や進んで行う自主学習、予習の手引きなどを配布し家庭学習の充実を図る。また、読書の時間を充実させるために「読書カード」、家庭の協力を得るために「お手伝い・マッサージカード」の取組を行う。</p>	<p>B</p>	<p>3学期の学校懇談で、『家庭学習のスタンダード』『家庭学習のすすめ』を配布し、家庭学習について保護者に説明を行い、協力を得る。 予習を奨励し、自主学習を1週間でノート7ページ以上行わせる。</p>

進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」
「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」